

えんぼとたんぼの始発駅

里山ビオトープ二俣瀬

会 報 第 127 号

2012年2月23日

里山ビオトープ二俣瀬をつくる会

編集責任者：西原 一誠

1. 活動報告（事務局 記）

—2月5日（日）維持活動 16名の参加でした

イ) 修復 湿地帯破損散策橋の解体除去、草原川土手の杭打ち、溝あげ

ロ) 湿地帯エコアップ（タテバチドメクサの駆除）

否定常時の活動として

—2月5日— 午後

シイタケ原木切り出し運搬 後は3月末菌打ち込み（午後より地区会員4名にて）

—2月12日—

東屋に組み立て式屋根施工

水車注水口脱落補修・給水管詰まり浚え・水車軸受グリース注入

前田会員によるエコアップ（湿地帯のタテバチドメクサ間引き他）

—2月13・14日—

シイタケホダ木のビオトープへの運搬・原木粗朶の片づけを行いました。

—2月19日（日）維持活動としてため池の排水個所の崩壊の修復をしました。

多量に土砂が流れ出て2トン以上の粘土と、φ125のビニール管・溜升にて修復で大変な工事となりました。

参加された9名の会員の皆様大雪の中ご苦勞様でした。他予定していた修復工事・エコアップは中止とし次回に行います。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者 予定なし

◎行事

—3月04日（日）維持管理活動（水路・散策橋修復工事）

午後はUNCCAの植樹祭に参加

—3月17日（土）エコアップ・維持管理活動（水路・散策橋修復工事）

—4月08日（第二日曜日）9時より二俣瀬ふれあいセンターにて 24年度総会

3. 来訪者の声

今月はありません

4. 会員の声

「入会しての感想」 (落合 直巳 記)

初めて参加したのは、昨年の12月の餅つきです。自然観察隊の親子を始め多くの人が参加をされ、杵や台唐(だいがら)を使ってお餅をついたり、お餅を丸めたり多くの体験をしながら、里山の生活を理解されたように思います。子どもたちの生き生きした目がとても印象的でした。

餅つきの経験の少ない私にとっては、テントの立て方、机の紙張り、蒸し器・餅つき機の準備、もち米の蒸方・でき上がりの判定、餅つき機の使用法、お餅の丸め方など多くの事を先輩会員から懇切丁寧に教えていただきました。先輩の手際の良さに感心するとともに里山における知恵・技術を受け継ぎ、次の世代に伝えたいと思いました。また、二俣瀬と言う里山で、自然を利用した生活をしながら、他の生き物たちと共生する環境作りを実践したいと思います。

自然観察隊の子どもたちと一緒にあって、里山の厳しさ・良さ、命の大切さや環境保全の重要性を学びたいと思いますので今後とも宜しくお願いします。

事務局より落合さんの紹介；二俣瀬出身、平成21年陸上自衛隊を退官(陸将補)、現在果樹栽培を郷土二俣瀬にて挑戦中、日本野鳥の会会員、生き物文化誌学会会員です。

「ビオトープ散策」 (事務局 原田満洲夫)

寒風の中に、ちょっとした時間帯に小春日和の状態が現れる。その時をねらって気分晴らしにビオトープの散策を愛犬「ハル」とおこなう。

赤ガエルの卵がいたところの水中に群がっている。中には田んぼの※避け路溝に干からびかかった赤ガエルの卵を見つける。おそらく雨や雪によってできた水溜りをよとして産卵して水が干上がったものと思われる。かわいそうに思い蓮池から通水し避け路溝に水を満々と蓄えて通水を止める。3日かも来なかったら又同じことをすることになると思う。ため池の須賀河内川の排水木管が腐りかけ水が漏れて土手が崩壊寸前である。イノシシがこの湿気を帯びた土中に棲息するミミズを食べるため更に土手を壊している。さっそく次の活動にはこの壊れかかった土手の修復準備にと！いろいろ気を配らなくてはならない。さらに下ると水車の回転が時々止まる異常が見受けられる。色々確認すると水中に古い杭が沈んでいて水車の一部分に接触しスピードが落ちている。これを何とか取り除いてスムーズに回り始めた。

ビオトープを創設して12年がながれあちこちに問題が蓄積している。集めたエコアップの泥つきの草山・草原ゾーン川のシガラ破損・湿地帯散策橋の橋げたの腐食、気をつけて観るといくらでも活動の作業が増える。小春日和を利用して気分転換がとてもじゃないが、来なかった方が良かったとも思われる。

いいやそうじゃないよ！今後のビオトープの維持活動に有意義な計画が立てられるじゃないかと神様が叱咤激励をしているんじゃないか。 以上

「

※避け路溝 上の田んぼから冷たい漏水を一時ストップして溜め直接冷たい水が稲の生育を害するため行ってきた昔からの百姓の知恵である水溜め

5. ビオトープ関連 (ビオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

(45) クロイトトンボ (イトトンボ科・クロイトトンボ属)

Paracercion calamorum calamorum RIS

県内には一般にアオモンイトトンボと並び多くみられるイトトンボです。止水性のトンボで、ため池や水郷の溝、水田などに見られます。北海道より九州まで幅広く棲息しますが、北部日本では産地が限られるようです。

5月頃より10月頃までみられ、成熟したオスは胸や腹の一部に白粉がでますので、同属のムスジイトトンボ、セスジイトトンボ、オオイトトンボとは区別しやすいので、間違えることはありません。

産卵は♂♀連結して行いますが、時には2頭とも完全に水中に潜って植物の組織内に産み付けます。



クロイトトンボ ♂



クロイトトンボ ♀



連結交尾



水中産卵



羽化の始まり



羽化終了間際

6. 会よりの連絡事項（事務局より）

1) ビオトープが宇部市の市有地となり、維持管理費助成金を戴く関係で、今まで以上活動に気を使うこととなります。また逆にいえば BACK に宇部市があると云うことで気持ちも大きくなってきています。

活動を大きく分けて、「市民憩いの場」を前面に出せば安全安心して来客者のフィールドにすること、と我々会員、観察隊他「環境学習の場」としてビオトープ本来の生態系を保持することが引き続いて課せられた活動ではないでしょうか。100%結果出ればその中で三大コンセプトの一つ「二俣瀬をアピールする場」も十分発揮できるものと信じます。それには会員の出席率UP・新入会員募集に力を入れなければなりません。

2) 関係団体の行事のお知らせです。

イ) エコ仲間の集い

主催 NPO 法人 宇部環境コミュニティ 共催 宇部まちなか環境学習館

日時 2月25日 10時～17時

場所 常盤湖水ホール

当会も出展いたします（ビオトープの生態系他会員・観察隊隊員の募集等）

会員皆様多数の陣中見舞いかたがた見学において下さい。

ロ) カーボンオフセット(CO2 吸収源の森づくり)

主催 宇部市地球温暖化対策ネットワーク

共催 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会

場所 亀浦公園（宇部市亀浦埋立地一元鍋島跡付近）

日時 3月4日 13時30分（なお当会からの出席者6名は12時まで参集）

7. 編集後記

昨年は、二俣瀬子ども会としても、田植え、稲刈り、餅つきと参加させて頂き有難うございました。

もう少しで息子と一緒に二俣瀬小学校を卒業です、今年も多くの子供たちにビオトープで遊んでほしいですね。

（若林 正治 記）